



新年あけましておめでとうございます。

昨年のご支援、ご協力ありがとうございました。

今年も、引き続きのご支援、ご協力を、何卒よろしくお願いいたします

昨年は皆様にとってどんな年でしたか？今年はどうな一年にしたいと思いますか？年の初めに「今年こそは」と決意をしたり、「今年は、こんなことを、あんなことを」と夢や希望を持てるのは、楽しくてわくわくしてします。障害者福祉に携わる私たちにとっては、障害のある方々が、この一年、これから始まる未来に向けて、夢や希望をいっぱい持てる社会になってほしいと心から願っています。

私たちは、去年7月に起きた、障害のある19人の命を奪い26人もの人を傷つけた相模原市の山ゆり園の事件を、許すことは出来ません。そしてまた、あの事件を「特異な事件」ということだけで、片付けることもできません。防犯を強化することは大切なことですが、それだけが解決方法だとは思えません。あの残虐な事件の背景に、あった障害者差別は、どうして起こったのか問い続けたいと思っています。

去年は、山ゆり園の事件だけではなく、高齢者介護施設で、家族介護の中で、認知高齢者へ虐待、また子どものいじめ問題が多く起こる中で福島県から避難してきた子どもたちへのいじめや差別も表面化しました。それらすべてを「特異な事」で片付けてはいけなと思っています。マスコミでクローズアップされている間だけ騒がれ後は、忘れられていいことではないと思っています。もしあの事件の被害者が自分だったら、自分の家族だったら、それで済むでしょうか。これから始まるこの一年、「差別をする」自分をしっかりと意識し、「差別をする自分と闘える力」を「知ること、学ぶこと」を通し身につけていきたいと切に思います。

今年、国連障害者権利条約が我が国で批准されて3年目の年です。また、たくさんの尊い命を奪った大きな戦争を経て、もう二度と過ちを繰り返さないことを心に刻んだ国連世界人権宣言が採択され、今世紀は「人権の世紀」と言われています。世界中で人権について色々な行動が提起されています。

私たちは、毎年この時期に障害のある青年や成人の福祉制度の充実のための国会請願活動を展開しています。春には、地域の多くの皆さん、関係者の皆さんの賛同をいただいた署名を持って国会に出向き請願活動を行います。そしてその請願には、党派を超え多くの議員さんが賛同して下さり、紹介議員になってくださいます。けれども最終的には、反対多数で否決や保留のまま国会が終わってしまいます。毎回「多くの議員さんが賛同してくれるのに、国会を通過しないのはどうして？」とってしまいます。でもあきらめずに、請願活動を続けるのは、まだまだ障害のある人たちの人権が守られている社会になっていないからです。人間の命や権利にかかわる問題を、あきらめることはできません。

繰り返し失敗して「もうだめだ」と思うことがあっても、またやり直しができる力をつける一年に、いつも誰かに助けてもらい支えてもらえる存在、また同じ様に誰かを助け支えられる存在に、そんな一年にと思っています。

(松本 多仁子)

特集！署名活動を通じて伝えたい！僕たち私たちの声

第40次国会請願署名・項目1

「障害があっても一人の市民として生活できるように必要な支援は原則無償にすると共に、年金などの所得補償を拡充してください」

仲間のこえ

「今の障害年金だけでは結婚もできないし、生活に不安を抱えたまま生活しなくてはいけないので、不安なく、安心して生活できるだけの年金をいただきたいです。」

第40次国会請願署名・項目2

「障害者総合支援法の介護保険優先制度を廃止すると共に、誰もが安心して利用できる介護保障制度を実現してください」

仲間のこえ

「65歳になっても障害は軽くなるどころか、体のしんどさ等もあって、重くなっている気がします。介護保険に変わってしまうと、すごく困ります。それは、ヘルパーさんが来てくれる時間が減ってしまうからです。今まで温かいご飯が食べられていた日でも、前の日に作ってもらったご飯を食べなければいけません。もちろんおいしいのですが、やはり作り立てのおいしいご飯が食べたいし、来てくれる時間も減ってしまうと、家が片付かなくて困ってしまいます。」



第40次国会請願署名・項目3

「利用者支援を充実させるために、報酬の日払い方式と常勤換算方式を見直すと共に、本体報酬を増額してください」

仲間のこえ

「台風等で施設が休みでも、職員さんは、仲間の安全確認をするために出勤しています。でも仲間が来ないと施設にお金は入らないので、この職員さんたちが働いている時間はただ働きみたいな感じになってしまっています。僕たちが安全に施設に通えるように、職員さん達は施設の安全を保ってくれているのに、僕たちが行かないとお金は入らないって、おかしいと思います。」



第40次国会請願署名・項目4

「地域活動支援センターについては、国がその実情を把握し、安定した運営ができるよう予算確保のための措置を講じてください」

仲間のこえ

「地域活動支援センターひだまりは、僕らにとってかせない場所です。ここがなくなると、ひだまりの仲間と話すこともなくなってしまおうし、土曜日や休みの日にどこに行ったらいいかわからず、ふらふらしてしまいます。なので、ひだまりがこれからも続けられるようにしてください。」



仲間のこえ

「日本の障害関連の予算は世界の中でも、とても少ないと学習会で勉強しました。会社や公共事業にお金をかけることも大切ですが、僕たちの生活をもう少しよくすることにもっとお金を出してほしいです。」



第40次国会請願署名・項目5

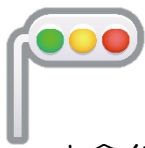
「障害関連予算の配分率を少なくとも先進国の平均レベルまで引き上げてください」

連載コーナー「この街レジェンド～No.6」

～小倉台公園管理会

この町を守る
ヒーロー！

会長 安田 浩造さん～



小倉台公園管理会会長を現在担当しています、安田です。最近始めたばかりで、模索しながら、皆さまにもご協力して頂きながら活動しています。その他には、自治会の副会長と環境部長など地域の活動を皆さんと共に活動させてもらっています。地域の見守りは3年目です。一番最初に見守りをした時に、一人の中学生の女の子がにこっと笑顔で挨拶をしてくれて嬉しかったです。そういった嬉しさや楽しさがあるって今日まで続けられていますし、感謝しております。今では見守りが楽しみになっています。

プライベートでは、健康の為に、地域のソフトボールクラブに入り、汗を流しています。学生時代は、野球をしていました（ポジションはファースト）し、体を動かすのは大好きです。

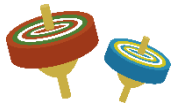
これからも地域の方とコミュニケーションを取りながら、多方面に活動していきたいと思います。



地域の見守りをされる
安田さん



綺麗な町を守るため
公園を掃除される安田さん



☆こだまだより☆



社会福祉法人かがやき神戸では神戸市よりボランティアセンターモデル事業（平成 20～25 年度）を受託して福祉のボランティア活動を進めてきました。その成果をさらに継続して法人事業としてボランティアセンターこだまを運営しております。広陵町、筑紫が丘、小倉台地域の中でお互いに支え合い、助け合い活動を進めます。また、かがやき神戸北施設の事業や利用者の活動が充実するよう施設事業のお手伝いも取り組んで行きます。この地域とかがやき神戸北施設のサポーターになってください！

【ボランティアセンターこだま連絡先】
〒651-1213 神戸市北区広陵町 6-174-1
グループホーム事務所
Tel 090-1141-4851 FAX 078-203-6579



**是非！ぜひ！
応援してください！**

会の詳細、ご質問は、
かがやき神戸職員まで、
いつでもお気軽に！

あ・な・た・の・入会♪



お待ちしております～♪

「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い
(年会費 1000円)
振込先：郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354
加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会

☆障害者福祉の充実をめざす「きょうされん」の賛助会員にも、ご協力下さい☆

(年会費 個人3000円 団体6000円)
振込先：郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425
加入者名 きょうされん兵庫支部

かがやき神戸を支援する会では、会報誌「かがやき」（年4回）を、
きょうされんでは、会報誌「TOMO」（毎月）を作成し、会員の皆様にお届けしています。

—編集後記—
寒さの厳しい季節となって参りました。こんな季節になると外に出るのも億劫になり、家で寝正月・・・、テレビは特番の面白いものばかり・・・、ますます私は引きこもり・・・、正月太り・・・、いやいや！皆様 2017 年もパワフルに頑張りましょう！
2016 年よりも良い年にしましょうね！（K・S）